

2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [Sherry 英語教室] 担当教諭名 [塩飽 隆子] (中学1-3年、高校1-2年 16名)

交流相手国 [Rwanda]

海外学校名 [Gahini Secondary School] 担当教諭名 [Bagambe Joseph / 崎山章(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	英語	想いを英語で伝えよう！	22
	課外活動	想いを絵に表そう！	8

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	命・絆・未来
絵に込めたメッセージ	20年前に民族の大量虐殺で100日間で80万人が殺されたルワンダ、その国の高校生と出会い、テレビ会議で顔を合わせて話をし、歌を歌い、ダンスを踊り、将来について話をし絆を深めました。いつの時代にどの国に生まれても、命を大切にし、子どもは好きな本が読めて、好きなスポーツができて、やりたい勉強ができて、将来に夢を持って大きくなれますように！生徒たちは「被爆と大量虐殺、暗い過去があったからこそルワンダの子たちと一緒に『自分たちが願う世界』『明るい未来』『平和な世界』を描きたい」という想いを込めて絵を描いた。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・映画「ホテルルワンダ」を観て実際にルワンダで起きた大量虐殺の事を知り、命について考えた。 ・経済が発展した国とこれから発展する国の同世代の自分の将来に対する意識の違いを感じていた。 ・英語で自分の意見をはっきり伝える力をつけることの必要性を痛感し、英語学習への意欲が高まった。 	<p>南半球の国は12月～1月に長い夏休みがあるため、日本側が絵を描いた後に交流の中だるみがあった。</p>

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<p>ルワンダの高校生が「自分が将来この国を豊かにしたい」という強い思いを持っていることに感銘を受けていた。先進国・途上国という経済の差は学ぶことへの意欲とは関係ない、むしろ彼らの方が学習へのモチベーションが高いことに驚き、それが刺激になった。</p>	<p>日本の子供たちが途上国の同世代と協働学習をすることの意味を再確認させられた。アートマイルで途上国の子供たちと長期にわたって交流できるのは大変貴重な機会だとあらためて思った。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月	夏休みにルワンダ調べをし、「ホテルルワンダ」を鑑賞して、ルワンダがどうい国かイメージをもってスタート。フォーラムとスカイプで自己紹介した。	テレビ会議ではとても明るくてフレンドリーなルワンダの生徒たちとお互いのことについて質問をし合ったり歌を歌ったりして大変盛り上がった。	英語
テーマ学習	10月	インターネットでルワンダの国の特徴・文化・自然・民族について調べてまとめた。日本については身近にある地域の文化を紹介した。	ルワンダのことを知るうちに、「命」「絆」「明るい未来」「自分たちが願う世界」をテーマにしたいと考えるようになった。	英語
構図決定	11月	一人一人が案を出し、代表が相談して構図を決定した。相手にフォーラムでその構図を示し、テレビ会議で相談して決定した。	テーマの「命・絆・未来」をキャンパスの上でどういう流れを作って表現するか何度も話し合った。みんなの思いをうまく形にすることができた。	英語
壁画制作	11月 12月	「平和」「明るい未来」への思いや相手との「友情」をしっかり込めて描くことができた。一旦完成してからも、相手の下絵案と調和するように描き加えるなど常に相手と一緒に創り上げるという意識を持って取り組んだ。	ルワンダの生徒たちに自分たちの思いを伝えるという強い気持ちを持って描いていた。グループ毎に分けて描いたが、全体が調和しているか何度も見直していた。出来上がった絵にとっても満足している様子だった。	課外活動
鑑賞・振り返り	3月	JICA の隊員が帰国後に直接作品を持ってきてくれた。グループ毎に鑑賞し、振り返りをした。	相手が生まれて初めて絵の具と筆を持って描いた絵を丁寧に鑑賞していた。振り返るとテレビ会議を3回したことで学習を深めることができたようだ。	英語

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	5	生徒はこれまでもアートマイルに参加しているので自文化の紹介には慣れた様子で発信していた。
異文化の理解	A	5	ルワンダについてはとにかく初めて知ることばかり。JICA 隊員の方からたくさんのことを教えてもらって理解が進んだ。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	5	フォーラムの書き込みとテレビ会議を通してコミュニケーション力がついた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	4	相手国調べではインターネットを活用した。フォーラムはできるだけ生徒が書き込みをするようにした。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	4	もともとクラス内の人間関係は良かった。相手の生徒との人間関係はテレビ会議で予想以上に深まった。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	特に絵の制作の場面でうまく役割分担をし、お互いに協力する姿がよく見られた。
学習を追究する意欲	B	5	相手とやりとりをするモチベーションは全体を通して高かった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	伝えたい思いを十分絵に表現できて大変満足そうだった。
作品を鑑賞する力	B	4	ルワンダの生徒が絵の具も筆も使うのが初めてなので苦労して描いた絵を、相手の気持ちを考えながら鑑賞していた。